

7.29 [金] 13:30-15:30

夏休みだ！ フィルムセンター・ アニメーションまつり！

かつての夏休みの映画館には、短篇まんが映画の五本立、六本立というような子供たちのための番組がよく組まれていました。フィルムセンターらしい作品を選んで、その楽しい雰囲気を再現します。

『なまくら刀』(1917年)

○日本/監督:幸内純一/4分

いま観ることのできる、日本でもっとも古いアニメーション! どんなものかな?

『人魚』(1964年)

○日本/監督:手塚治虫/8分

「人魚」という題名からどんなお話を想像しますか? それは当日のお楽しみです。

『長靴をはいた猫』(1969年)

○日本/監督:矢吹公郎/80分

ローザ姫の花婿になろうとする悪者退治に、青年とネコの剣士、その仲間の動物たちが大活躍! 活劇と音楽がいっぱいの冒険映画。



『長靴をはいた猫』

こども 映画館

KIDS★CINEMA



『フランケンシュタイン対地底怪獣』

7.30 [土] 13:30-15:30

映画で空想の 世界を体験!

夏休みは特撮映画。映画でしか見られない巨大な人間や怪獣たちの世界に行ってみよう。

『フランケンシュタイン対地底怪獣』(1965年)

○日本/監督:本多猪四郎/93分

戦争中に広島に運ばれた怪物フランケンシュタインの心臓が、原爆で人間の姿によみがえり、怪獣バラゴンと対決! 不気味なフランケンシュタインは、孤独な優しい少年の心をもっているよ。映画の終わり方が日本公開版とは違う、大ダコが突然登場する海外版を上映します。



8.5 [金] 13:30-15:30

活弁と音楽の世界

—日本にとって記念すべき
オリンピックの年に作られた映画

ドキュメンタリー、コメディ、アニメーション、いろいろな種類の作品を活弁と音楽とともに楽しもう。

『オリンピックの街』(1964年)

○日本/監督:荻野茂二/34分

オリンピックの開催を控えた52年前の東京の様子を見ることのできる貴重な作品。

『マックスの農場恋愛詩』(1912年)

○フランス/監督:マックス・ランデー/10分

結婚のため農場に来たマックス。でも気に入ったのは花嫁として用意されていた娘の方ではなく…。

『マックスと犬』(1912年)

○フランス/監督:マックス・ランデー/9分

新婚のマックスが忠実な愛犬に妻の見張りをさせたところ…。

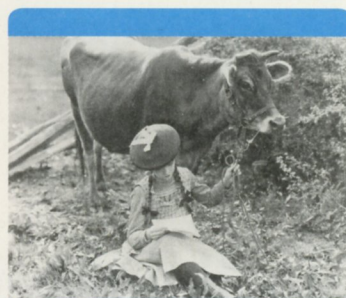
『動物オリンピック大会』(1928年)

○日本/監督:村田安司/13分

ゾウ、カバ、サル、ブタなどの動物たちが、棒高とび、円盤投げといった競技に参加。優勝したのは?



『マックスと犬』



『スージーの真心』

8.6 [土] 13:30-15:30

活弁と音楽の世界

—笑い涙のアメリカ映画

チャップリンの楽しい芸がいっぱいの映画と、楽しくてちょっとほろりとする映画。アメリカ映画の名作2本を、活弁と音楽で楽しもう!

『のらくら

(チャップリンのゴルフ狂時代)』(1921年)

○アメリカ/監督:チャールズ・チャップリン/20分(オリジナル32分)/日本語字幕なし

おかねもちだけどなまけ者のだんなさんに、こまっているおくさん。そこへ、だんなさんそっくりのまずしい旅人があらわれておもしろい!

『スージーの真心』(1919年)

○アメリカ/監督:デヴィッド・ウォーク・グリフィス/89分/日本語字幕なし

大好きなウィリアムが大学に行っても立派な人になれるよう、こっそり助けてあげる、まじめでやさしいスージー。でもウィリアムはスージーが恩人だと全然気づかない。スージーのやさしさは報われるのかな?

※不完全なプリントが含まれていることがあります。
※映画の上映の順序は変更になることがあります。
※各プログラムの終了時刻は目安です。



保護者・指導教員・ 引率者の皆様へ

「こども映画館」は、小・中学生を対象としたフィルムセンターの映画イベントで、夏休みの期間に開催します。「こども映画館」は次のような目的で企画されています。

◎こどもたちに、映画という偉大な文化芸術遺産の素晴らしさ、楽しさを知ってもらう。

◎こどもたちに、テレビ等の家庭内視聴では得られない、大きなスクリーンによる本物の映画(フィルム)を楽しむ機会を提供する。

◎優れた映画作品の鑑賞を通して、こどもたちの豊かな情操と高い映像理解能力(リテラシー)を育む。

こどもたちが映画館に集まり、みんなが暗闇のなかで集中して大きなスクリーンを見つめ、泣き、笑い、緊張し、興奮し、感動する—かつてはごく当たり前であった、こうした映画の原風景の素晴らしさを、今日のこどもたちにも味わってみたいと思います。きっと良い思い出になることでしょう。

8月5日、6日は活弁・演奏付きで 映画が観られるよ

弁士:佐々木亜希子

活動写真(映画)の弁士。NHK山形放送局にてニュース番組のアシスタント・キャスターを務めた後、関東でテレビやラジオのアナウンス、リポートに携わる。1999年、活弁に出会い傾倒、2001年より弁士として各地で公演を行っている。



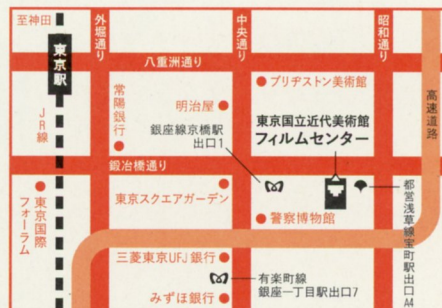
演奏:FEBO

2003年に結成。ギターの小沢あき、ピアノの永田雅代による即興中心のアナサンブル。



活弁とは?

無声映画の時代に日本の映画館で行われていた、弁士による映画説明のことです。当時はそれぞれの劇場が弁士を雇い、その評判によって劇場の人氣が左右されるほど大切な役割を担っていました。



東京国立近代美術館フィルムセンター

〒104-0031 東京都中央区京橋3-7-6

交通:東京メトロ銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分/都営地下鉄浅草線宝町駅下車、出口A4から中央通り方向へ徒歩1分/東京メトロ有楽町線銀座一丁目駅下車、出口7より徒歩5分/JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分

◎お問い合わせ||ハローダイヤル:03-5777-8600

東京国立近代美術館ホームページ: <http://www.momat.go.jp/>

長瀬映像文化財団

フィルムセンターは長瀬映像文化財団の支援を受けています。